

目ざまし時計 取扱説明書 電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

説明書番号 FNR-064P

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご承知ください。印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。

この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

(例: AM000、KRO00、SQ000など)

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

製品の特長

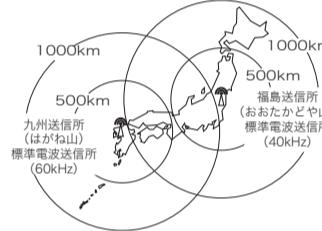
- 電波修正機能つきデジタル時計（福島・九州の東西電波を自動選局）
- 電子音アラーム（アラームを一度止めても約5分後に再び鳴り出すスヌーズ機能つき）
- 時刻、カレンダー、温度を表示
- LEDバックライト機能

※電波を受信できない場合でも、クオーツ時計としてお使いいただけます。

電波クロックについて

- 電波時計／電波修正機能とは？
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に時刻を修正・表示します。
- 標準電波とは？
情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所から異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という超高精度を誇る『原子時計』によるものです。
- 電波の受信について
標準電波の受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2カ所）から、おおむね1000km～1200kmです。この製品は、40kHz（福島送信所）、60kHz（九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し、受信します。ただし、天候、設置場所、時計の向き、時間帯、地形、建物の影響などによって、受信できない場合があります。
- ご注意
電波障害などによって、誤った時刻が表示される場合があります。また、設置場所や電波状況によっては受信できないことがあります。そのようなときは、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。
- 標準電波は、毎時15分と45分から各1分間はコールサインの送信を行うため、一部の時刻情報の送信が中断されます。また、設備のメンテナンスや落雷などの影響により電波の送信が停止（停波）することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧になるか、お客様相談室にお問い合わせください。

（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）



必ずお読みになってからご使用ください

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。
時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。
また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が50°C以上になる所や直射日光の当たる所。
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が-10°C以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- 立ち・ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まることがあります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や温気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。
また、40°C以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。
(結露に注意してください)

本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件の下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
- 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
- 乗り物の中（自動車、電車、航空機など）
- スチール机など、金属製の家具の上や近く
- その他、電波ノイズを発生させるものの近く

※電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

液晶パネルについて

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 次の場合、静電気や圧力を加えることにより、黒い線・しみ・縞模様が発生することがあります。故障ではありません。しばらく放置しますと元に戻ります。
 - 表示部の透明シールをはがしたり、乾いた布などで拭いたとき
 - 指などで液晶パネルを押したとき

お手入れについて

- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかかるないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。
- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。
その後、やわらかい布で乾拭きしてください。

製品仕様 ▶ (改良のため予告なく変更する場合があります)

時間精度	平均月差±30秒 (気温5°Cから35°Cで使用した場合) (電波受信による時刻修正を行わない場合)
表示精度	±1秒 (電波受信による時刻修正を行った直後)
使用温度範囲	-10°C～+50°C
アラーム	電子音、約5分間オートストップ、約5分間スヌーズ（スヌーズは何回でも繰り返すことができます。）
カレンダー	2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー 月末、うるう年とも修正不要。
温度測定範囲	0°C～+40°C (測定範囲内での精度±2°C)
表示	日付（月/日、曜日）、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示、周囲温度（°C）
使用電池	単3形乾電池 2個
電池寿命	約1年 ※単3マンガン乾電池（R6P）を2個使用時。 ※アラームを1日につき約10秒間使用した場合。
電波受信機能	自動受信（午前2時から3時間ごと。次回の受信までクオーツの精度で動いています。） 手動受信

※センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度が変化しても表示が変わるものがあります。
※温度が以下の状態になったときの表示
-10°Cより低い「Lo」、50°Cより高い「Hi」

必ずお守りください 安全上のご注意

警 告

〈アルカリ電池について〉

- ショートさせたり、分解、加熱、火への投入などは行わないでください。
アルカリ性溶液がもれていれば、発熱、破裂の原因となります。

- 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。
また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

〈梱包用ポリ袋について〉

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

注 意

〈時計の設置場所について〉

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

〈電池について〉

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- 電池は必ず-側から入れてください。また、+を正しく入れてください。
- 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済の電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- 付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。したがって、お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れことがあります。
- 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

〈時計と電池の廃棄について〉

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

〈液晶パネルについて〉

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

保証・アフターサービス

この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。

保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。

保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。

修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。

保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。

お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。

さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

故障かな？と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。
なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考 え ら れ る 原 因	処 置
表示が出ない	・電池が入っていない。 ・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーの表示が欠けている	・電池の容量が少なくなっている。 ・きちんとリセットされていない。 ・静電気等による誤動作。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
時刻またはカレンダーが合っていない	・受信に成功していない。 ・電池の容量が少なくなっている。	・「■電波を受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。
アラームの音が鳴らない	・「アラームスイッチ」がOFFになっている。 ・電池の容量が少なくなっている。	・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。 ・電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。

■付属品 ご使用の前にご確認ください。

■取扱説明書/保証書（本書） 1枚 ■モニター用電池（単3形乾電池） 2個
※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

■はじめに

安全上のご注意ならびにその他の注意事項をお読みの上、ご使用ください。

製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。シールが貼ってある場合は、ゆっくりはがしてください。（このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがあります、しばらく放置しますと元に戻ります）

■各部の名称



①スヌーズ/ライトボタン — バックライトが点灯
アラームが鳴っているときに押すとスヌーズ機能が実行（約5分後に再びアラームが鳴ります）
②アラームスイッチ — アラームのON/OFFを選択
③リセットボタン — 初期化を実行（先端の細いもので必ず押してください）
④受信ボタン — 標準電波の受信を開始（通常表示のときに押した場合）
※受信中に押すと受信を中止します。
⑤時刻/日付合わせボタン — 手動で現在時刻や日付を合わせる場合（2秒以上押し続けてください）
⑥進むボタン/戻るボタン — アラーム時刻の入力、手動による時刻や日付の入力

■ご使用方法

1. 電池を入れてください（単3形乾電池 2個）

本体裏面のふたを開けて、 \ominus 側から電池を入れてください。

電池の \oplus/\ominus の向きを間違えないように注意してください。

※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。

※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

2. 「③リセットボタン」を先端の細いもので押してください

表示が全てついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。

●受信中は、 \blacksquare マーク（または \blacksquare マーク）が点滅し、受信マーク $\approx\approx$ が受信状態に応じて変化します。

●受信に必要な時間は最長約16分間です。

※夜間は昼間よりも受信状態が良くなります。昼間に受信できなかった場合でも、翌日までに自動で受信することができます。（詳しくは裏面の『電波クロック』をご覧ください）

[受信成功]

受信マーク $\approx\approx$ が表示され、正しい日付と時刻に修正されます。

●受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

[受信できない]

受信マーク $\approx\approx$ は表示されず、このとき時刻、日付の修正は行なわれていません。右記「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

●使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することができます。

※電池交換後は、必ず「③リセットボタン」を押してください。



3. 時計を設置してください

本製品を使用したい場所に置いてください。

●窓際など、できるだけ電波を受信しやすい場所でご使用ください。

4. アラームを鳴らすには

(1)「⑥進むボタン/戻るボタン」を押してアラーム時刻を合わせてください。
●「⑥進むボタン/戻るボタン」を押すと、日付がアラーム時刻に切り替わって点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。

●アラーム時刻合わせの状態で「⑥進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
●約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し、[通常表示]に戻ります。

(2)「②アラームスイッチ」をONにしてください。

アラーム時刻になるとライトが約5秒間点灯し、アラームが鳴ります。

●アラームマーク (\blacksquare) が表示されます。

●日付表示がアラーム時刻表示に切り替わります。



5. アラームを止めるには

アラームを止めるには2通りの方法があります。

1. アラームを完全に止める

「②アラームスイッチ」をOFFにして止めます。

●アラームマーク (\blacksquare) が消えます。

2. 約5分後に再度アラームを鳴らす（スヌーズ機能）

「①スヌーズ/ライトボタン」を押すとアラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。

●スヌーズ中はアラームマーク (\blacksquare) が点滅します。

●スヌーズ機能は何回でも繰り返すことができます。

▲アラームは約5分間で自動的に止まります。（オートストップ機能）

この場合、アラームマーク (\blacksquare) は表示されたままで、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

■その他の機能

■自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ時刻、日付を合わせる

電波状況の良い窓際などへ移動してください。

次に「④受信ボタン」を押してください。（標準電波の受信を開始します）

●受信状態については、左記「■ご使用方法」をご覧ください。

●うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。
ご使用中に受信マーク $\approx\approx$ が表示されない場合は、使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。

●詳しくは裏面の『電波クロックについて』をご覧ください。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

(1)「⑤時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。

(2)「⑤時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のとおり、順に表示が点滅します。

(3)「⑥進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。

●「⑥進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。

●5分以上「⑥進むボタン/戻るボタン」を操作しない場合は、自動的に[通常表示]に切り替わります。

<時刻表示>



[通常表示]

普段はこの表示でお使いください。



[年合わせ表示]

「⑥進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
2000年～2099年まで合わせられます。
(曜日は自動で合います)



[月/日 合わせ表示]

「⑥進むボタン/戻るボタン」で日付を合わせてください。
(曜日は自動で合います)



[時刻 合わせ表示]

「⑥進むボタン/戻るボタン」で時刻を合わせてください。
「⑥進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



[12/24時間制選択表示]

「⑥進む/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。

(4)12/24時間制選択が終了したら、「⑤時刻/日付合わせボタン」を押して[通常表示]に切り替えてください。

■12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、上記「2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。

(受信マーク $\approx\approx$ が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マーク $\approx\approx$ は表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます)

■ライトについて

「①スヌーズ/ライトボタン」を押すとライトが点灯し、ボタンを放してから約5秒間点灯します。

■自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。

(海外で使用する場合や、時刻をずらして使用したい場合は、自動受信を止めてください)

(1)「④受信ボタン」を、「OFF」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

(2)上記「2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。

●自動受信を止めても「④受信ボタン」を押すと電波の受信を開始します。

●自動受信を再開するには、「④受信ボタン」を、「ON」が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■ご注意

●本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより表示不良など誤作動することがあります、故障ではありません。誤作動した場合は、「③リセットボタン」を押してください。

●「③リセットボタン」を押した場合は、設定された時刻などはすべてリセットされます。

●本製品は、日本標準電波仕様のため、海外では電波修正機能は使用できません。

●電池交換後は、必ず「③リセットボタン」を押してください。